

DC 12Vで蛍光灯が点灯

蛍光灯インバータ ユニット基板完成品

【概要】

DC 12Vで蛍光灯を点灯させる蛍光灯インバータ基板です。

【接続前の注意事項】

本体基板上あるいは裏面の銅箔金属面は通電中高電圧を発生しています。通電中は感電防止のため基板上金属部及び蛍光管接続部には絶対触れないでください。また、触れるおそれのある場合はビニルテープなどで絶縁するか絶縁物でガードしてください。

基板は金属物の上に置かないでください。ショートして発熱したり回路が永久破壊する場合があります。

本体はスタート時、数Aの電流が流れ、また、点灯中もかなりの電力になりますので配線、取り付けは確実に行ってください。異常発熱で最悪の場合火災等の原因になることもあります。

取り付け後は必ず説明書一般注意事項もご覧ください。

【外部接続】

基板上コネクタ部分にケーブルを差し込みます。黄色を蛍光管の片側に接続します。白色を蛍光管の反対側に接続します。サークルライン用ソケットを使用する場合は見た目の感覚と逆になりますので、間違えないよう接続します。

次に、赤いケーブルが電源の+、黒いケーブルが電源の-です。電源には12V、3A以上の電源を使用してください。蛍光灯インバータの場合電源を入れて蛍光管が点灯するまでの間は、瞬間的ですが定常値の2倍以上の電流が流れます。電源の容量が少ないと不完全点灯のままとなり蛍光管の寿命は短くなり、インバータに負担がかかります。

電源を入れて正常に点灯しない場合はすぐに電源を切り接続を点検してください。

【外部接続】

基板上コネクタ部分にケーブルを差し込みます。黄色を蛍光管の片側に接続します。白色を蛍光管の反対側に接続します。サークルライン用ソケットを使用する場合は見た目の感覚と逆になりますので、間違えないよう接続します。

次に、赤いケーブルが電源の+、黒いケーブルが電源の-です。電源には12V、3A以上の電源を使用してください。蛍光灯インバータの場合電源を入れて蛍光管が点灯するまでの間は、瞬間的ですが定常値の2倍以上の電流が流れます。電源の容量が少ないと不完全点灯のままとなり蛍光管の寿命は短くなり、インバータに負担がかかります。

電源を入れて正常に点灯しない場合はすぐに電源を切り接続を点検してください。

【注意事項】

本体は水分のかからないよう設置してください。

コンパクト管の場合点灯しづらい場合があります。その様なときはご相談ください。

温度が低い場合、正常点灯になるまでの時間が長くなる場合があります。

電源の+、-、電圧は間違えないよう充分ご注意ください。

蛍光管接続部、本体金属部は通電中高電圧がかかります。感電しないよう充分ご注意ください。

インバータ基板の取り付けは本体裏でショートしないよう、また、インバータ基板は発熱しますので放熱穴をあけたり風通しの良いよう取り付けてください。

本体基板は難燃性基板を使用していますが、基板周囲や上部に燃えやすい物を近づけないでください。特に上部にはご注意ください。

本体には異常発熱が起こった場合動作を停止するサーモを組み込んでいます。温度が下がると自動復帰しますが、何度も消灯するようであれば何らかの異常が考えられますので使用を中止し、連絡ください。

内部基板裏や内部金属部がショートするとほんの一瞬であっても永久破壊することがあります。

蛍光管のワット数が異なると正常動作しません。蛍光管に合ったインバータをご使用ください。また、特殊蛍光管は適合しない場合があります。特殊蛍光管をご使用される場合は必ず事前にお問い合わせください。

バッテリーや大電力の電源をご使用になる場合は念のため電源と基板までの間に10A程度のヒューズを入れられることをお勧めします。

無人で動作させる場合は特に上記安全事項を充分配慮ください。

本基板を用いて生じるあらゆる不利益も当方ではいっさい保証できませんので予めご了承ください。

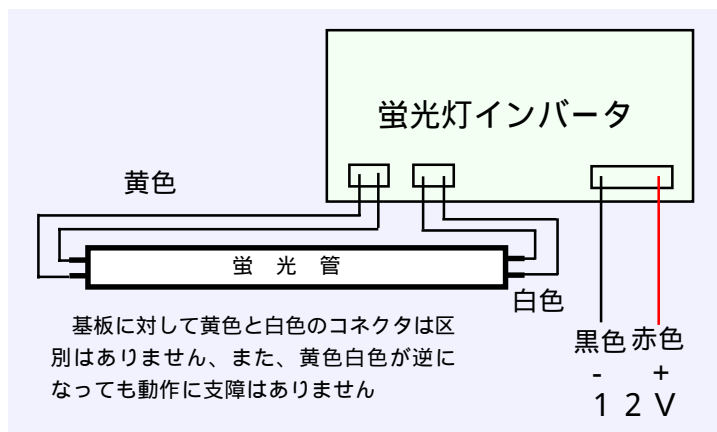
特殊管をご使用になる場合は必ずご相談ください。

仕様

電源 DC10~12V 2A

基板寸法 40×98×30mm

対応蛍光管 直管、丸形蛍光管、コンパクト管



(有) アール・アイ・エフ

〒648-0096

和歌山県橋本市御幸辻766-16

TEL 0736-33-0410

FAX 0736-33-0430

<http://www.rif-jp.com/>